

研究主題

共通主題

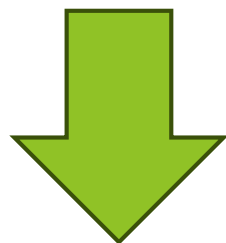
**協働して、よりよく生きようとする児童・生徒の育成
～安定と柔軟性がある学級集団づくりを通して～**

厨川中学校区 3校共通の視点

生徒指導の実践上の視点

→生徒指導提要から

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 自己存在感の感受 | 2 共感的な人間関係の育成 |
| 3 自己決定の場の提供 | 4 安全・安心な風土の醸成 |



《「生徒指導」の実践上の視点を活かす》

- リアクティブからプロアクティブな指導支援へ
- 予防的生徒指導から成長を促す「開発的生徒指導」へ
- あらゆる教育活動と生徒指導を関連付ける

児童の実態

◎R5年度CRT

→ほとんどの学年での学力低下(特に算数)

◎アンケートの結果

→学び合う楽しさを感じている児童が少ない

◎思いやりのなさからの対人関係のトラブルが多い

◎学級をよりよくしていきたいという思いを持った児童もいる

本研究を通して

本校の研究を、生徒指導提要で示してある「生徒指導の実践上の視点」を活用して整理し直し、3T(つなぐ、高める、使う)のある算数科の学習を通して「他者とつながりながら、**しなやかに考えたくましく生き抜く子ども**」を育成したい。

中心的研究内容

しなやかに考える子どもの育成
〈3T(つなぐ・高める・使う)のある算数科の学習を通して〉

◎ 目指す子どもの姿
→ キーワード「しなやか」



3 Tを位置付けた学習

(1) つなぐ Tunagu

(2) 高める Takameru

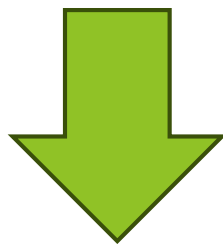
(3) 使う Tukau

具体的手立て

- 1 自己存在感の感受
- 2 共感的な人間関係の育成
- 3 自己決定の場の提供
- 4 安全・安心な風土の醸成

1 自己存在感の感受

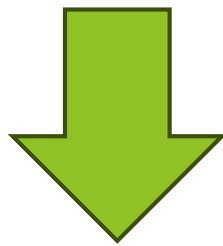
- ・「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感することが大切
 - ・他者のために役立った、認められたという自己有用感を育むことも極めて重要
- (生徒指導提要)



- ・子どもの考えやつぶやきを取り上げ、価値付ける

2 共感的な人間関係の育成

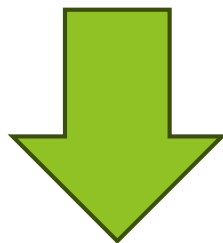
- ・自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係をいかに早期に創りあげるかが重要 (生徒指導提要)



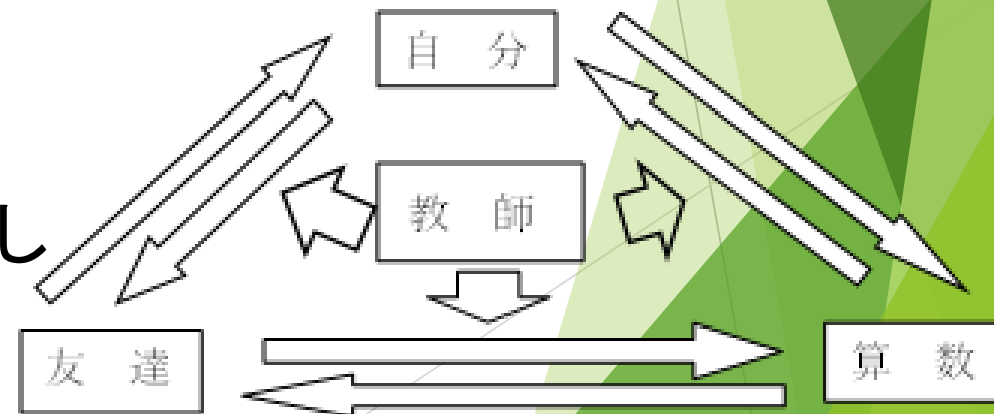
- ・考えるための「話す」
- ・伝えるための「話す」
- ・確かな学びにするための「話す」

3 自己決定の場の提供

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていくことが求められる（生徒指導提要）

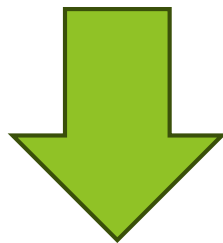


- ・自分，友達，算数の三者を関連付ける
- ・「つなぐ」「高める」「使う」発問や問い返し
- ・全体授業研究会での学び合い



4 安全・安心な風土の醸成

- ・お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活を送れるような風土を、教職員の支援の下で、児童生徒自らがつくり上げるようにすることが大切
(生徒指導提要)



- ・自分の考えを伸び伸びと発言できる学級づくり
- ・青小スタディの取り組み

